

WASM睡眠専門医への道

ISMSJ教育委員会 編
(2015年8月作成 第1.0版)

免責事項:

本スライドの情報は2015年8月現在のWASM HP記載内容に基づいています。随時アップデートするように努めますが、受験条件などの情報は今後変更される可能性があります。ご不明な点は直接WASMにお問い合わせ下さい。

WASMについて



WASM HP:
www.wasmonline.org

What's WASM ?

- **W**orld **A**ssociation of **S**leep **M**edicine の略称。
“ワスム”と呼びます。
- “Advancing sleep health worldwide”をミッションに、
2003年に設立された学術団体です。
- 2005年より2年毎に世界各地で学術集会を開催しています。
- 個人で正会員登録できます。

WASM睡眠専門医

WASM HP Home > Exam

WASMが認定する睡眠専門医とは？

- WASM教育カリキュラムに基づくトレーニングをとおして世界基準の睡眠医学の知識・経験を身につけた医師が、WASM Examに合格することにより得られる専門医認定です。
- 『世界基準の睡眠医学を実践できる能力』を証明するための認定です。資格ではありません。

WASM睡眠専門医を目指そう

WASM睡眠専門医を目指す意義

- WASM教育カリキュラムに沿ったトレーニングや受験勉強をとおして、世界基準の睡眠医学を体系的に学んでいくことができます。
- 『世界基準の睡眠医学を実践できる能力』を有することの証明になります。

まずWASM教育カリキュラムを確認

WASM HP Home > Exam > curriculum

- WASM睡眠専門医を目指すにあたり、世界基準の睡眠医学を修得するためのトレーニング指針が、WASMホームページ上に示されています。
- 合計20項目の目標が設定されています。
- 修得すべき具体的内容と項目がリストアップされており、それらに沿って学んでいくことが推奨されています。
- 今後、WASMよりスライド・ビデオ等による教材の提供が予定されています(2015年8月時点)。

WASM Examとは？

What's WASM Exam ?

- WASM睡眠専門医の認定試験です。
- 2013年よりシンガポール・香港・ソウルで開催されました。今後は2016年3月台北 (IPSA2016)、2017年10月プラハ (WorldSleep2017) で開催予定です (2015年8月時点)。
- 4時間1セッションで択一式問題150問を解答します。
 - Part 1- 基礎・臨床科学 (60 questions)
 - Part 2- 標準的評価技法 (60 questions)
 - Part 3- 臨床応用問題 (30 questions)
- 正答率の合格ラインは70%です。

受験資格の概要

以下のいずれかをみたすこと;

1. 認定施設における6ヶ月以上の研修プログラム(専従)を修了した者。修了証明書の提出を要する。
 2. 認定施設における1年以上の研修プログラム(従事比率50%以上)を終了した者。修了証明書の提出を要する。
 3. 最低5年間の睡眠診療従事・睡眠教育または睡眠研究の経験を有する者。従事比率20%以上で、毎年5時間分以上のCMEと50件以上のPSG実施を要する。以上について所属長発行の証明書の提出を要する。さらに求められた場合は症例記録(logbook)、PSGレポート、CME証明書を提出しなければならない。
- …本邦にはWASM教育プログラムに準拠した研修を行う認定施設がないため、本邦在住者にとっては3.が現実的な選択肢となる。

出願方法

1. 必要な書類をそろえる

- * 願書(WASM HP > Exam > Application Process よりダウンロード)
- * 英文の医学部卒業証明書(出身大学に問い合わせ)
- * 英文の医師資格証明書(電子政府の総合窓口e-GOVより申請)
- * 研修プログラム修了証明書[pathway1,2]、または所属長発行の睡眠診療/教育/研究従事証明書[pathway3](所定の書式なし)
- * Pathway3は求められれば以下を提出;
 - 症例記録(logbook)
 - PSGレポート(50件以上)
 - CME活動記録(毎年5時間以上)

2. WASM officeに提出する

- * E-mail添付で提出(info@wasmonline.org) または
- * 願書に記載されている住所に郵送

所属長発行の睡眠診療/教育/研究従事証明書の作成例

1 September 2015

This is to certify that

Taro Suimin, MD

*has involved in the clinical practice in sleep medicine,
sleep education and sleep research over 5 years at;*

Period	Division, Institute	Location
20XX-20XX	Department of Neurology, XXX Municipal Hospital	Aichi, Japan
20XX-20XX	Department of Neurology, YYY University Hospital	Tokyo, Japan
20XX-20XX	Center for Sleep-related Disorders, ZZZ Hospital	Osaka, Japan

(手筆サイン)

Hanako Suimin, MD, PhD
*Chief Director, Center for Sleep Medicine,
XYZ University Hospital, Tokyo, Japan*

症例記録(logbook)の作成例

[illegible]